

高等学校教諭特別免許状 事前相談シート

提出日 令和4年6月1日

ふりがな	とうきょう たろう							生年	平成 2 年 4 月 2 日			面接時通訳要否		
氏名	東京 太郎							月日				不要		
電話番号	03-0000-0000							メールアドレス	1234567@○×△□.co.jp					
学歴 ・ 職歴	年	月	日	学校名・勤務先名称				職務内容等						
				学歴										
	H21	3	31	都立〇〇高等学校				卒業						
	H21	4	1	〇〇大学				〇〇大学◇◇学部△△学科 (H25.3.25卒業)						
				職歴										
	H25	4	1	社会福祉法人〇〇会				訪問介護事業所において高齢者、障害者の身体介助、生活援助、移動支援等 (H27.3.31まで)						
	H27	4	1	〇〇病院				理学療法士として高齢者のリハビリテーション (H28.3.31まで)						
	H28	4	1	都立〇〇特別支援学校				介助員として障害のある児童の身体介助 (H30.9.30まで)						
	H30	10	1	都立〇〇高等学校				福祉科にて特別専門講師として「〇〇」の授業を担当 (H31.4.1まで)						
	R2	4	1	〇〇福祉専門学校				非常勤講師として「〇〇論」の講義を担当。(R6.3.31まで勤務予定)						
								現在に至る						
	所持する 教員免許状	①	H25	年	3	月	31	日	高等学校	教諭	一種	免許状	(保健体育
②		H25	年	3	月	31	日	中学校	教諭	一種	免許状	(保健体育)
福祉関連の 免許・資格	①	H25	年	10	月	1	日	介護福祉士						
	②	H25	年	10	月	1	日	社会福祉士						
	③	H27	年	4	月	1	日	理学療法士						
	④	R5	年	10	月	1	日	精神保健福祉士 (取得見込み)						
	⑤		年		月		日							
	⑥		年		月		日							
上記以外の 福祉に関する 優れた知識 経験等	H28.10.1 〇〇学会においてポスター発表「〇〇における介助について」 H30.11.2 書籍『〇〇福祉論』(〇〇出版)において、第〇章「〇〇〇における介助の方法」を執筆。													

- ※ 全ての欄を記入してください。
- ※ 学歴は、高等学校卒業以降の学歴を記載してください。
また、職歴については、令和6年3月31日までの見込を含めて記載してください。
- ※ 「教科に関する専門的な知識経験」は、「特別免許状の授与に係る教育職員検定等に関する指針」に基づき、基準を満たしていることがわかるように経験等の詳細を記載してください。
- ※ 教員採用候補者選考で合格後、書類審査に合格した場合、学識経験者による面接を実施します。
通訳が必要な場合は「面接時通訳要否」にその旨を記載してください。
なお、通訳は英語を想定しております。英語以外の通訳が必要である場合は、相談内容にその旨を必ず記載してください。
(通訳の有無が評価に影響することはございません。)